

県立病院を良くする会 議事録

●日時 令和5年1月19日（月）10:30～12:00

●会場 WEB開催（徳島県庁10階 他）

●出席者

（委員）青野透 委員（徳島文理大学総合政策学部 学部長）
石本知恵子 委員（地域医療を守る会 副会長）
後藤真美 委員（（一社）キラニコ 代表理事）
菅井弘昭 委員（三好病院を応援する会 会長）
鈴記洋子 委員（（公社）徳島県看護協会 第一副会長）
谷憲治 委員（徳島大学病院総合診療部 教授）
姫田知子 委員（四国大学短期大学部幼児教育保育科 講師）
元木由美 委員（（一社）徳島県医師会 常任理事）

（ 県 ） 病院事業管理者、病院局長、病院局副局長、病院局次長
中央病院（院長・看護局長・事務局長）
三好病院（院長・看護局長・事務局長）
海部病院（院長・看護局次長・事務局長）
本 局（総務課長・経営改革課長・政策調査幹）ほか

●会議の概要

開会

司会

定刻となりましたので、ただ今から、「令和4年度第2回県立病院を良くする会を開会いたします。

本日は、新型コロナウイルス感染症対策としまして、オンラインによる開催とさせていただきます。病院局総務課副課長の大谷でございます。当会議の司会を務めさせていただきますので 宜しくお願い致します。開会にあたりまして、北畑 徳島県病院事業管理者からご挨拶申し上げます。

<p>病院事業 管理者</p>	<p>(あいさつ)</p> <p>徳島県病院事業管理者の北畑でございます。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、新年を迎え、大変御多忙の中、「県立病院を良くする会」に御出席を賜り、厚く御礼申し上げます。</p> <p>現在「COVID-19」の「第8波」と、季節性インフルエンザとが同時流行により全国的にも医療の逼迫が懸念されているところです。</p> <p>県立病院としましても、県民の生命と健康を守るため、通常医療の維持に努めながら「感染患者の受け入れ」に日夜懸命に取り組んでいます。</p> <p>一方で、県立中央病院の「ER棟」整備につきましては、今年度末の完成を目指し、工事が大詰めを迎えており、いよいよ来年度からは、感染症対応はもとより救命救急医療の強化、5Gを活用した遠隔医療の推進、災害医療や人材育成の拠点として、運用をする予定となっております。</p> <p>こうした中、今後は、現在皆様に御論議頂きながら策定を進めております「病院事業経営強化計画」に基づき、「新興感染症対応と通常医療の両立」をはじめ、「医療DXの推進」「医師・看護師の確保」「働き方改革の推進」などに積極的に取り組むことにより、県立病院が基本理念に掲げる「県民医療の最後の砦」となるよう、更なる「医療の質の向上」や「地域医療の充実」に繋げて参りたいと考えております。</p> <p>本日は、まず、それぞれの病院から「取組みの状況」を御報告させていただき、その後、「病院事業経営強化計画」について、前回頂いた御意見、御提言やその後の県議会の御審議、パブリックコメントの結果等を踏まえた修正案について、ご説明させていただきますので、委員の皆様には、多方面から御意見を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>司会</p>	<p>議事に入ります前に、当会議の開催趣旨等について御説明致します。</p> <p>当会議におきましては、設置要綱第2条に規定されておりますとおり、「計画の達成状況の評価及び見直し」や「県立病院の基本理念の実現に必要な事項」について、委員の皆様に必要な御提言を頂くこととしております。本日は、県立3病院の取組状況と、前回いただきました御提言を踏まえ修正を加えました「徳島県病院事業経営強化計画」(案)につきまして、御説明させていただきます。</p> <p>委員の皆様方からは、より良い病院づくりのために、様々な御提言を頂きたいと存じますので、よろしくお願い致します。</p> <p>それでは、議事に移りたいと存じます。</p> <p>これからの進行につきましては、会長にお願いいたします。</p> <p>会長、どうぞよろしくお願いいたします。</p>

議事	
会長	会の円滑な運営に努めて参りますので、皆様方の御協力をよろしくお願いたします。
会議の公開	
会長	それではまず、議事に先立ち「会議の公開」について、お諮りしたいと思しますので、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>会議の公開につきまして、御説明申し上げます。</p> <p>設置要綱第5条第3項により、当会は会長が必要を認め、委員に諮った場合を除き「公開」とされております。</p> <p>また、会議の議事録ですが、これまでと同様に事務局で作成し、各委員にその内容を御確認いただいた後、発言された委員のお名前は記載せずに病院局のホームページ上で公開したいと考えております。</p>
会長	ただいま、事務局から御説明いただきましたけれども、議事録等の公開については了承するという事によろしいでしょうか。
委員一同	(異議なし)
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、そのようにさせていただきます。</p>
(1) 「各県立病院の取組状況について」 (2) 「徳島県病院事業経営強化計画」(案)について	
会長	<p>議事(1)の「各県立病院の取組状況について」と議事(2)の「徳島県病院事業経営強化計画」(案)については、事務局から、まとめて、御説明いただき、その後、委員の方々より、御提言等をいただきたいと考えております。</p> <p>それでは資料の説明をお願いします。</p>
<p>(各県立病院 説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 各県立病院の取組状況 <p>(病院局総務課 説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2-1 「徳島県病院事業経営強化計画」(案)の概要 ・資料2-2 「徳島県病院事業経営強化計画」(案) ・資料2-3 「徳島県病院事業経営強化計画」(素案)からの修正(一覧) 	

(3) 意見交換

会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>せっかくの機会でございますので、ただいまの説明に対しまして、委員の方々から有意義な御提言をいただきたいと思っております。御出席委員全員から各委員から一つということで、御質問等をお願いします。その後全部終わってから時間がありましたら、追加質問をお願いしたいと思います。WEB会議でございますので、こちらから指名させていただきます。最初に、委員からお願いします。</p>
委員	<p>一番関心を持ちましたのは、海部病院のKサポートです。</p> <p>海部病院ではこう呼ばれているということですが、これが実際に私としてはDXの一つの手だと思っておりますけれども、実際にどの範囲で、例えば、全てのスタッフさんに対して、このKサポートというのが、スマホさえあればできるということですよ。</p> <p>それをどこまで共有化するのか、例えば、実際に現在だと、徳島大学病院との連携があるようなので、そのスタッフとの間での連携もKサポートの対象になっており、様々な場面で即時にそういう情報が共有できるということになっているとすれば、これは本当に素晴らしいことと思っております。</p> <p>そうであるなら、他の2つの病院ではどうなのかと。その辺が共有できれば、3つの県立病院の働き方改革に繋がるのではないかと思いました。</p> <p>まずは海部病院での広がりというか、どこまでが、このKサポートの対象になっているのかということと、中央病院と三好病院の方は、これをどう評価されるか、例えば自病院に入れることはないのかというのを聞きたいです。以上です。</p>
中央病院	<p>中央病院です。救急外来にいられた方のCT画像等について、Joinというシステムでスマホへ送信し、在宅医師に診断してもらうことはできます。例えば呼吸器分野で、コロナ患者の肺炎等について入院の適用を病院に出でずに在宅から診断することもできます。</p>
会長	<p>例えば海部病院のすべての呼吸器疾患の患者さんを中央病院の呼吸器内科の医師が診て判断するということは、まだできないってことですかね？</p>
中央病院	<p>当直や日勤帯であれば海部病院の画像を見ることはできるのですが、院内にいない待機の医師は見ることはできません。中央病院の呼吸器疾患の患者の画像は共有しているということです。</p>

委員	<p>繰り返しにはなりますが、海部病院のすばらしい取組を、この3病院で統一できる、例えばカンファレンスを3病院どこでも毎朝やっておられるということで、実際にこういう患者さんだというときに、少しわからないってようなことがあれば、スマホさえあれば、それが共有できて、そして様々な症例に対してスムーズに皆さんが知見を出し合っていることができれば、それこそまさにDX・デジタルトランスフォーメーションとして、医療で働き方が改革され、そして患者さんの為になるということに繋っていくと思うので、それを検討していただければいいなと思った次第です。</p>
会長	<p>海部病院は、現状と将来の計画として、その点に関していかがでしょうか？</p>
海部病院	<p>海部病院では、基本は全ての医師が日常的に利用しております。コロナ診療におきましては、中央病院の先生とか、大学病院の先生との利用実績はあります。</p> <p>また、当院から3次救急として赤十字病院に搬送することがありますが、赤十字病院の方に置いてあるスマートホンにあらかじめ画像を送ることによって、手術の準備をしていただくような対応は出来ております。</p> <p>今後は、同じもの、同じソフトを利用するかどうかわかりませんが、単に画像だけでなく、院内職員の間では、様々な、例えば教育関連とか、患者さんの情報・指示の共有なども利用するようなシステムを進めて行きたいと考えております。</p>
会長	<p>続きまして、委員からお願いします。</p>
委員	<p>よろしく申し上げます。</p> <p>先ほどから3病院のご説明を聞いて、やはり地域のニーズに合った病院として頑張っておられることを感謝いたします。住民として、たくさんありますが、一つだけに絞って申しますと、やはり海部病院で働いていただける医師、看護師、医療従事者の子育てを応援したくて、10年前から親子サポートセンターを立ち上げていますが、あまり知れ渡っていない。</p> <p>計画の18ページに 医師・看護師の働き方改革の推進とあります。中央病院は規模が大きく、院内保育所がありますが、海部病院には無いです。海部病院についても、親子サポートセンターを町からの委託で一応作ってありますが、そういうのが知れ渡って無いので、ここを記載していただけたらと思います。</p> <p>新しく今たくさん夫婦の先生方が来ていますが、先日もコロナで保育</p>

	<p>所が止まり、先生二人のどちらかが見なければならなくなったので、心配しなくても住民がお子さんを見させてもらいますよ、とは言ったのですが、やはり感染を考えてのせいかできていません。</p> <p>結果として、こういうところでも先生方に苦勞をかけており、病院内で院長先生はじめみんなで協力体制をとっていただいたとおっしゃっております。</p> <p>明記していませんが、親子サポートができる体制をとっておりますので、若い先生方もこれを見たら、辺鄙なところで交通の便も悪い海部病院でも、勤めても良いかなという先生方たくさんおいでしてくれるようになれば良いかなと思います。</p> <p>また、働き方改革の推進にも住民が後ろからバックアップできるかなと思っております。</p>
会長	<p>親子サポートセンターについて、病院局として支援や周知をお願いしたいということですかね、いかがでしょうか。</p>
病院局	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>病院局次長の松本でございます。病院で勤務する従事者への子育て支援、特に安心して仕事ができるようにと言う部分と、一方で子育て支援と言う部分もあろうかと思いますが、職場環境の改善という中で、安心して子育てができて、ひいては安心して仕事ができるという環境を作ることが、今後の人材確保に向けた対策としても非常に有効であると考えておまして、現在の計画にもそういう趣旨で記載させていただいております。</p> <p>そういった中で、ご案内いただきましたサービスにつきまして、有効なものはいくら活用できればと考えておりますので、また各病院の状況等も踏まえながら、様々なサービスの活用について検討していきたいと考えております。</p> <p>計画の内容の修正については、いただいたお話を踏まえまして、早々に検討して参りたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いたします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、委員からお願いします。</p>
委員	<p>御説明ありがとうございました。</p> <p>一つということですので、プラン18ページの5-3 医師・看護師等確保策の強化については、保育園など出産育児に寄っていますが、多様なライフステージに対応して業務を続けていくことができる職場環境づ</p>

	<p>くり、と言うのであれば、当社でも最近増えてきたのが、介護休暇の取得、前は無かったのですが出てきてます。</p> <p>今後、介護休暇を取れるような環境とか、この多様なライフステージっていうので書くのであれば、介護っていう部分も少し入れてあげた方が、休暇を取りやすいのではないかと思います。</p> <p>この話に付随してですが、勤務システム導入で、働く方の勤務管理ができていくということで、退勤と出勤の確認はできるのですが、実際、働いている方たちがこういうことを改善してほしいとか、ここの部署は有休が取りにくいとか、部署ごとでアンケートを取ったり、メンタルケアなどチームをつくることといったことが、今、現状としてはあるのか、今後して行く予定があるのか、聞かせてもらえたらと思います。</p>
病院局 総務課	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>計画18ページの中での記載内容で、多様なライフステージに対応するというのであれば、出産、育児、子育て以外にも介護について、当然、少子高齢化が進みゆく社会にありますので、様々な方の環境を整えていく必要がございますので、いただきました御意見を踏まえて計画の修正は検討させていただきたいと考えております。</p> <p>また、職員がどのような意見を持っていて、どんなことを考えているのかということ、実際アンケート取って把握しているのかというところですが、職員の方の意見を踏まえて、各病院が実際にどのように対応して行くかということは非常に重要な観点だと思いますので、アンケートという形もございますし、実際に会議で意見を上げていただくとか、様々な形があるかと思いますので、今後も引き続き、幅広く様々な職員の意見を踏まえながら、勤務環境の改善に努めてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>ありがとうございました。ぜひ現場の方の意見を反映していただきたいと思います。</p>
会長	<p>続きまして、委員からお願いします。</p>
委員	<p>パブリックコメントを送らせていただきましたが、反映されていないようなので、送付した内容を申し上げます。宜しく申し上げます。</p> <p>三好病院を利用しておりますが、外来の看護師はいつも忙しそう走り回っている感じがします。患者が安心して受診できる環境づくり・看護師の確保の観点から言えば、雇用が安定している正規の看護師を増員して配置していただきたいと思います。</p> <p>そういう文章を送付したはずでしたが、申し訳ございません、操作が悪かったのか繋がってないみたいです。私からは以上です</p>

会長	<p>パブリックコメントはすべて上げていただいていますね。今のご質問、御意見に対しましてコメントよろしいでしょうか？</p>
病院局	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>パブリックコメントに関しましては、御意見を直接いただく部門と連携しながら、全体の情報を頂いて、それに対する計画への反映ということで、対応させていただいたつもりでしたが、もしかすると、その担当部局との連携が一部漏れている可能性もございます。御意見を充分こちらで把握できなかった点については、申し訳ございませんでした。</p> <p>再度確認の上、御意見を踏まえ全体のパブリックコメントを整理させて頂きたいと思っております。</p> <p>また、正規職員の確保という御提言の内容につきましては、職員がより安定した雇用形態の中で勤務できることは非常に重要であると考えております。</p> <p>また、より幅広い勤務環境あるいは勤務形態を提供する中で、より幅広い範囲から職員を集めていくといった目的もございます。そうした中で安定した雇用環境をいかに確保できるかといった部分につきましても、今回の計画の中で、医師・看護師等の確保と言う部分で、様々な対策が必要と考えておりますので、頂いたご意見を十分踏まえて、引き続き雇用の確保、採用の円滑化について考えていきたいと思っております。どうもありがとうございます。</p>
会長	<p>続きまして、委員からお願いします。</p>
委員	<p>それぞれの報告を聞かせていただいて、とても参考になりました。そして、前回私から提案しました院内助産のことにつきましても、明記いただいております。今後、中央病院でも院内助産の再開に向けて取り組んでいただけるのかなと思っております。</p> <p>助産師の確保、それから院内助産をこれから開設し実施していくために、助産師の力量を担保する必要があると思いますが、そのために可能であれば、助産師出向支援制度もありますので、そういうのも活用いただいて、是非再開に向けて取り組んでいただきたいと思っております。</p> <p>以上が感想で、続けて質問をさせていただきますが、給料のことが今回はあまり出なかったと思いますが、看護職の処遇改善ということで、国家公務員の医療職俸給表（三）が改正されました。県は県の給与体系があると思いますが、この医療職の給料表、医（三）の改定で、これまで看護師が渡っていけなくてストップといいますか、給料が上がらなかったのですが、これでだいぶ改善されるという動きが国の方ではあります。県として、これを受け何か改善することはありますか？</p>

<p>病院局 総務課</p>	<p>御意見ありがとうございます。 国の給与改定を受けて看護職員の給与改定について県としてどう対応していくかというご意見だったかと思いますが、具体的に状況も十分把握させていただきまして、必要なところは知事部局と関連する部分もございますので、しっかりと共有し、取り組んで参りたいと考えております。明確な答えになってならず申し訳ございませんが、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>給与を見直していただいて、誰もが働きたい病院になっていただきたいと思っております、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>続きまして、委員からお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>ご報告ありがとうございます。 私自身少し聞きなれない言葉がある中で、内容を聞かせていただきましたが、1点とは言いながら説明を聞いていなかったかもしれないので、1点もう少し詳しくお伺いしたいところが1つと質問を1つさせてもらいたいと思います。 K サポートによって、医師の負担が軽減され、働き方改革の一つになっているということで、ICT をうまく使いながら、軽減をしていくのはすごく良い取り組みだと思っています。一方で、どういうシステムになっているのかわからない中でお伺いしますので、少し的外れな質問かもしれませんが、いつでも誰でも見られるとか全員が見られるのであれば、オンとオフの付け方みたいところで、医師の方が自分たちで管理しているのかなというところを思いました。責任感の強い先生方が多いと思いますので、そうすると、片時も仕事から離れられなくなるみたいな、そういうことが逆に起こってしまうじゃないか。何かをしてもプライベートな時間であっても、連絡が来ると、すぐにそれをしなければならなくなってしまいうけど、担当制になっているとか、工夫が無ければ、答える人はいつも一緒になってしまい結局負担が誰かだけに偏っていることになってしまわないのかなと思いました。そこの詳細を伺いたいです。 もう一件は、取組目標の一覧のところですが、目標値について、令和7年度と令和9年度とありますが、目標値が変わらない部分については、これはもう Max として捉えているという理解でよいのか、そのあたりが少し不明瞭だと思います。 パブリックコメントでも目標値について書いてくださっている方がおられたかと思いますが、その目標値が変わらない原因、それが限度であるのならば、どこかにそういうことは示しておかないと、どこが基準に</p>

	<p>なっているのか、特に目標が変わらないのであれば、良くなる方向でも無いのかなと思ってしまう部分があると思いましたので、そのあたりについて、お伺いできたらと思います。</p>
会長	<p>K サポートと目標値について、二つの内容のご質問頂きましたけれど、いかがでしょうか。</p> <p>K サポートについては、私もよく存じ上げておりませんが、例えば、脳外科の CT を見て欲しい時に夜中であれば脳外科の先生だけに連絡がいくのか、それとも全員に連絡が行ってしまい、内科の先生とか関係ない先生もそれを見てしまい、結果として仕事をしてしまうようなことになってしまうのでは無いかという御質問だったと思いますが。</p>
海部病院	<p>K サポートと呼んでいるのは、スマートフォンアプリの一つで、患者さんの画像中心に名前とかが特定されないような形でアップする。当直医がそういう相談をアップすると、Line の着信のような形で登録しているドクター方の Line の着信音が鳴ります。だからその時点で開けようと思ったものは開けることはできます。特にその専門医の意見が聞きたいのが、脳外科と整形外科が多いので、利用件数としてはその2科が多くて、脳外科や整形外科の医師で気が付いた方が回答したりしています。</p> <p>常にスマートフォンを見ているわけではないですが、どうしても連絡がつかない場合は、電話してスマートフォン見てくださいとお願いすることはあります。24 時間見張っているわけではないです。</p> <p>このシステムが入る前っていうのは、例えば CT をとって脳出血で麻痺がある方、この方をもし当直で見ると脳外科の先生に電話して相談するのですが、それでは画像を見ることができないので、夜中であれ、脳外科の先生は病院に呼び出されて対応するという形をとっておりました。</p> <p>確かにスマートフォン上の読影も無償・無休でやっており、献身的な部分はありますが、従来と比べたら負担としては、大きく改善されていると思っています。</p>
病院局 総務課	<p>取組目標に関する御質問ありがとうございます。</p> <p>今回の取組目標については、現行計画を見直して、新たな目標値を設定しております。今回、現行計画が計画期間 2 年目で新しい計画に置きかわる過程もございましたことから、今回の目標値は現計画の令和 7 年度と新たな令和 9 年度の 2 か年度の目標を設定しております。</p> <p>その中で、できる限り現状を踏まえて、上方修正出来るものは修正をかけておりますが、委員がおっしゃったように、中には令和 7 年度と令和 9 年度の目標が据え置きとなっている項目もいくつかございます。</p>

	<p>例えば、資料4ページの薬剤管理指導件数、5ページの収益拡大に向けた取組の中で紹介率や平均在院日数については、目標値が据え置きとなっているところですが、コロナの影響を受けている項目で、今後計画期間内におきましては、コロナの状況や新たな展開も加味していきながら、伸ばせるものは伸ばしていきたいと考えているところでございます。</p> <p>そして、例えば後発医薬品の90%以上という目標値のように、以上、ということを確認に表現にさせて頂いておりますが、ほぼ現状においても目標を達成している中、診療報酬制度等も踏まえ、90%以上を維持していくことを目標として設定をしております。</p> <p>計画期間内で、据え置きの目標値につきましても、できる限り取り組めるものは伸ばしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>続きまして、委員からお願いします。</p>
委員	<p>いつもコロナ診療だけでなく、一般診療にもご尽力いただき、大変ありがとうございます。私からは質問というのではなくて、お願いになりますが、災害対策に関してです。</p> <p>最近、特に南海トラフ地震の発生確率が上がっているというふうに報道されていますが、コロナ禍で特に地震対策が進んでいないというか、中断されてしまったように思われます。</p> <p>そこで是非、県立病院が地域の基幹病院として、その災害対策を指導していただけたらと思っています。医療従事者や県民を巻き込んで、訓練を具体的に、計画を立て実施していただけたらと思っています。お忙しい中、申し訳ないですが、ご検討お願いします。</p> <p>海部病院の説明で、DMATが2チーム15人とありましたが、1チーム5人なので3チームではないかなと思いましたが、その確認をお願いします。</p>
会長	<p>災害対策とDMATの件に関して、御質問いただきましたがいかがでしょうか。</p>
海部病院	<p>DMATのチームの件ですが、チーム構成、一応、1チーム5名を要件として、ドクター1名、看護師2名は必ずいる、というのが要件になっておまして、隊員としては15名いても、現在医師が2人。資格を持った医師が2人なので、チームとしては2チームということになっております。</p>

中央病院	<p>確かにコロナ禍で、人との接触は避けるということで、対面での訓練は一昨年まで実施できていなかったのですが、去年は大学病院と合同で災害訓練を実際に行いましたし、大学病院との訓練時のカンファレンスも Web で行うなど、昨年10月に実施することができました。</p> <p>今後、2月には浸水による水害訓練を院内で実施する予定にしております。ただ、県民の方や住民の方と一緒にというところまではできておりません。</p> <p>少しずつ感染対策をしながら、どこまで接触するかとこいうところも考慮し、その時々のコロナの流行状況を見ながら、訓練は少しずつ再開している現状です。</p>
三好病院	<p>三好病院でも災害訓練を再開しており、状況を見ながら、また住民の皆さんとやろうかという意見が出てますので、その意見は参考にさせてもらって、やはり災害対策はかなりやっていかなければいけないと認識しておりますので、委員さんの御意見、参考にさせていただきます。</p> <p>今後ともよろしくお願ひします。</p>
会長	<p>最後に私から。今回、各委員の皆様から貴重な意見をいただきましたけど、この計画の目標とか、計画の内容に自分の意見が反映され修正されているということを知って、非常に意義のある会だと思いました。</p> <p>その具体的な内容は皆様ご存知かどうか分かりませんが、病院局のホームページに議事録として載せていただいております。</p> <p>委員の名前は載っていませんが、各委員の質問内容と回答が載っていますが、現在のところ、今年度は一回目が去年の11月だったので、まだ載っていませんでしたが、去年の令和3年度の2月の議事録は載ってまして、例えば、例ですが海部病院の医師公舎を改善して欲しいという委員や私の意見を載せていただいております、雨戸が無いとか耐震が不安という言う意見を紹介させていただいたのですが、今回計画に令和6年度を目途に改修されるということを書いていただいております。</p> <p>内容に関してはいいのですが、全体として、委員からの意見を受けどのように改善していただいたのかとか、その結果、集計の結果について、どのようにされたのか。</p> <p>ホームページに議事録も出ている以上、我々委員や県民みんなが見ている内容なので、これがどうなったかと非常に興味があるところです。</p> <p>各委員から出てきた意見をどのように改善に持っていったかとかいう具体的な結果は、どのようにしたら知ることができるのかをお伺ひしたいのですが、いかがでしょうか？</p>

<p>病院局 経営改革課</p>	<p>委員の皆様方には非常に貴重な御意見を毎回頂戴いただきありがとうございます。これらの御意見につきましては、十分内部でも検討させていただいた上、会長の方からもご紹介があったように病院運営に対応をさせていただいているものものございます。</p> <p>検討させていただき対応させて頂いた結果につきましては、今後、例えば、この良くする会議の場や委員の皆様にも別途御案内させていただくとか、ホームページへの掲載など、御報告をさせていただく方法を検討していきたいと考えていますので、どうぞよろしくおねがいいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>是非お願いいたします。</p> <p>これで一通り御提言いただいたのですが、委員の中から、これだけは言っておきたいということがございましたら、御発言いただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>10ページに新興感染症に対応可能な看護師等の養成・配置があります。今コロナ禍で、また今後たくさんの感染症はあろうかと思えます。</p> <p>私が経験したことです。普通に顔が見える状態のときは、すごくテキパキとしていただいております。</p> <p>しかしながら、土日は人数体制が整っていないのか、電話対応の資質を向上して頂ければ、住民もその電話での対応で安心できるようになると思えます。</p> <p>どの病院も一緒ですが、土日の電話対応は、やはり顔が見えなくてもしっかりと受け止めていただいて、電話の人に寄り添う対応ができるような資質改善が大切なのかなと。</p>
<p>病院局</p>	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>曜日に関わらず県民の方々が受診されるということで、当然のことながら、様々な御質問への対応等についても、非常にきめ細やかに対応するというのは、基本中の基本であると考えております。</p> <p>土日休日の電話対応につきましても、確かに人数は少なくなっていたりとか、外部の人材を活用している部分もあつたりと、十分な配慮ができていなかった部分もあるのかもしれませんが。現状確認を行った上、改善についても早急に対応を図っていきたいと考えております。</p> <p>また、計画の内容につきましても、患者の皆様からの満足度の向上を図るであるとか、信頼を得るような取り組みを進めていくと、いった観点での記載もございますので、そういった内容も再度確認し、盛り込めるものについては記載するような方向も含めて考えさせて頂きたいと思っております。</p> <p>なお、引き続き県民の方の、安心して医療を受けられる体制づくりと</p>

	<p>いう大きな目標の中で、引き続きしっかり頑張っ参りたいと思ひますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。ありがとうございます。</p>
会長	<p>最近電話再診も増えてまして、電話で処方するやうなこともありますので、すべての職員が注意を払うべきことかもしれせん。</p> <p>それでは、時間が参りましたので、議事を終了させていただきます。委員の皆様方からは、貴重な御提言をいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しします。</p>
閉会	
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、閉会にあたりまして、病院事業管理者より御挨拶申し上げます。</p>
病院事業 管理者	<p>(あいさつ)</p> <p>本日は、各委員の皆様方には、貴重な御意見・御提言を賜り、心より感謝申し上げます。</p> <p>本日、各委員の皆様方から頂きました、貴重な御意見等につきましては、今後の病院経営に十分反映してまいりたいと考えておりますので、今後とも、御指導の程をお願い致しまして、簡単ではございますが、御礼の言葉とさせていただきます。</p> <p>本日は、誠にありがとうございました。</p>
司会	<p>それでは、これもちまして、</p> <p>「県立病院を良くする会」を終了いたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>